

会津若松市第3期環境基本計画（案）の概要

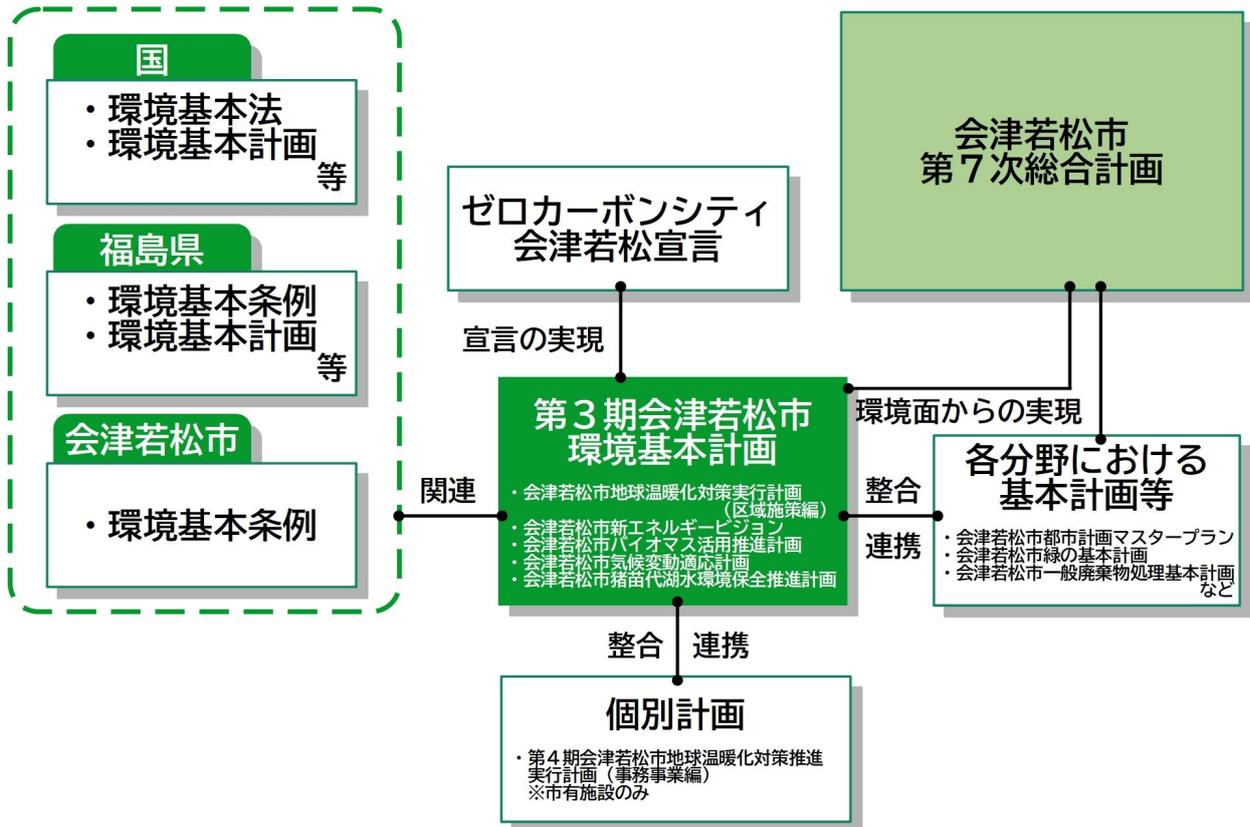
1 計画の基本的事項

(1) 策定の趣旨

この計画は、市環境基本条例第8条に基づき策定するものであり、国や県の環境基本計画との関連性に配慮しながら、「会津若松市第7次総合計画」を環境面から実現する、環境行政の最上位計画です。

平成26年度から10年間を計画期間とする第2期会津若松市環境基本計画の最終年度となる令和5年度において、令和6年度からの計画を策定するものです。

【環境基本計画の位置付け】



(2) 前計画の成果及び次期計画に向けた課題

第2期計画では、55項目中20項目の目標が達成（詳細は別紙参照）されましたが、河川の水質基準適合や太陽光発電の導入など法令基準や経済的効果が期待できる項目での達成が多く、一方、市民や事業者による清掃活動やごみ削減などの、自主的な取り組みは多くが未達成です。

この結果から、計画の施策は一定の役割を果たしたものの、市民や事業者と行政の間で、環境保全に向けた取組や活動の広がりやに差があり、それぞれの連携に課題があるものと考えられます。

次期計画においては、市民・事業者・行政が連携し、一体となりながら、環境保全等に取り組むよう、日常のあらゆる活動において、環境行動を促す仕組みづくりを進めるなど新たな手法の模索や、国県を含む関係機関との連携の強化など、「協働」による取組が重要であ

ると考えます。

また環境問題、とりわけ地球温暖化については新たな法令や計画等が次々と制定されるなど、この10年で環境施策を取り巻く状況は大きく変化しており、一部の目標値や施策について見直すとともに、取組を一層強化するなど、全市をあげた「脱炭素化の推進」が必要となります。

(3) 計画の目標

【目指す将来像】

環境とともに生きる”ひと”と”まち”

みんなで未来につなぐ 会津若松

この目指す将来像の実現に向けて、基本目標・取組を設定します。

(4) 基本目標の達成に向けた共通の視点

基本目標の達成に向けて、各取組をより明確にするとともに、取組間の連携を図るため、以下のとおり共通の視点を設定します。

【視点1】学びの場の充実

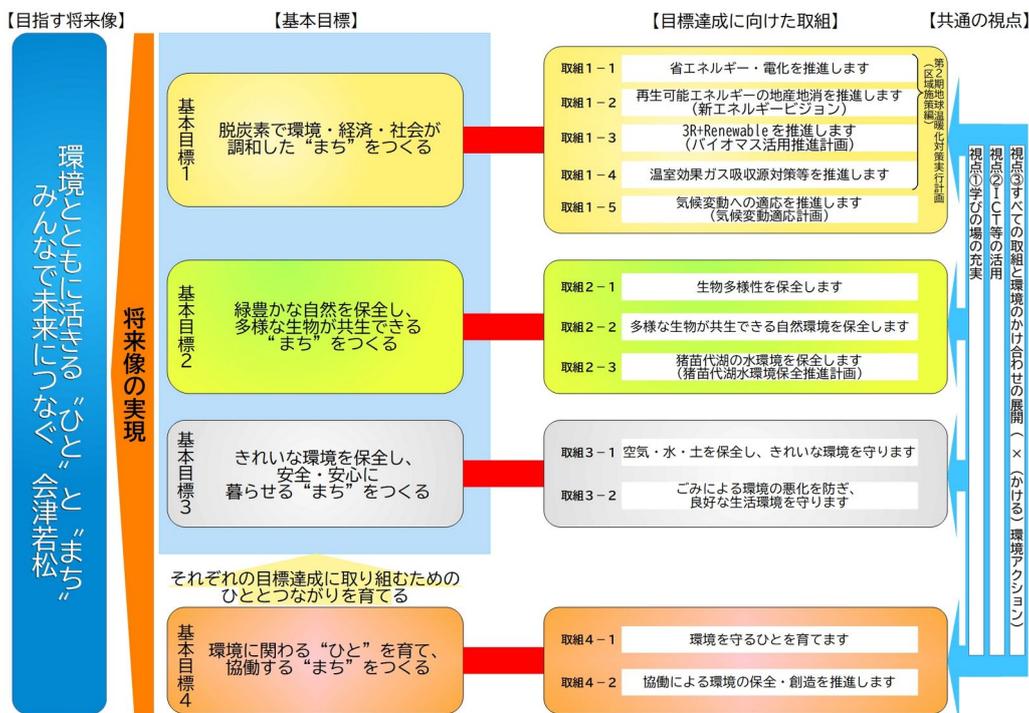
市民、特に未来の環境を守る子どもや若者への学びの場を充実させます。

【視点2】ICT等の活用

脱炭素をはじめ、それぞれの取組を効果的かつ効率的に進めるためにICT等を積極的に活用します。

【視点3】すべての取組と環境のかけ合わせの展開（×（かける）環境アクション）

すべての取組と環境分野をかけ合わせるにより包括的かつ効果的に取組を展開します。



2 目標達成に向けた取組

(1) 基本目標1 脱炭素で環境・経済・社会が調和した“まち”をつくる

地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出削減（緩和策）と気候変動による被害の軽減（適応策）の両方に取り組む必要があります。これらの対応を通じて、地域の魅力と質を向上させることを目指し、環境、経済、社会が調和した脱炭素の「まち」を作ります。

主な目標	現状値 (令和4年度)	中間目標値 (令和9年度)	目標値 (令和12年度)
再生可能エネルギーの供給目標値	7,387.3TJ (R元)	8,414.8TJ	8,472.1TJ

(2) 基本目標2 緑豊かな自然を保全し、多様な生物が共生できる“まち”をつくる

自然環境の悪化に対処するため、本市では市民、行政、事業者が協力して生物多様性の保護と自然再興に取り組めます。野生生物の生息地保全、緑化、水域の美化を進め、人と生物が共生する「まち」を目指します。

主な目標	現状値 (令和4年度)	中間目標値 (令和9年度)	目標値 (令和12年度)
緑化・自然交流事業への参加人数	3,025人	8,020人	8,020人

(3) 基本目標3 きれいな環境を保全し、安全・安心に暮らせる“まち”をつくる

大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、ごみのポイ捨て、放射線の不安が幸福度や生活の質を低下させます。事業者や市民と協力して環境悪化を防ぐとともに正確な情報を共有し、安全で満足度の高い「まち」を目指します。

主な目標	現状値 (令和4年度)	中間目標値 (令和9年度)	目標値 (令和12年度)
公害苦情相談件数	33件	15件	10件

(4) 基本目標4 環境に関わる“ひと”を育て、協働する“まち”をつくる

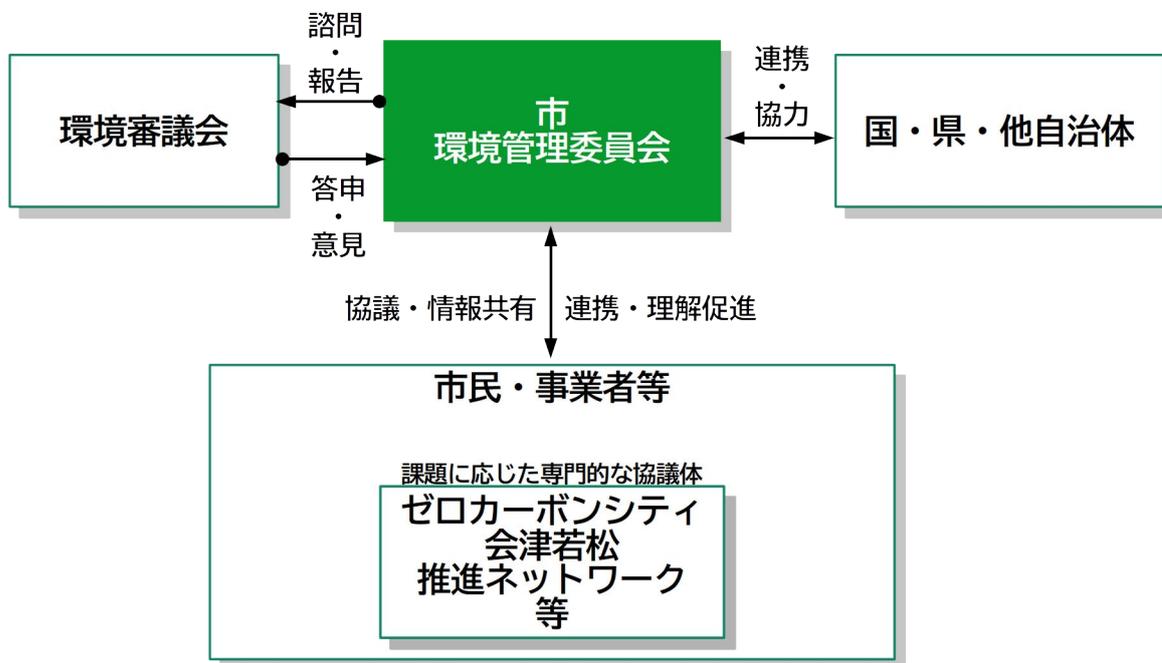
本市は豊かな自然と文化を持ちますが、環境問題の解決には全市民の積極的な関与が必要です。環境の保全及び創造への意識を高め、市民、事業者、学校間の連携を強化することで、自然を守る人材を育成し、協働する「まち」を目指します。

主な目標	現状値 (令和4年度)	中間目標値 (令和9年度)	目標値 (令和12年度)
環境啓発事業参加者数	102名	2,000名	5,000名

3 計画の進行管理

(1) 推進体制

市民、事業者、市民団体、市などが協働して効果的に推進する体制を構築するとともに、適切な進行管理を行っていきます。



(2) 公表

毎年度、年次報告書として取りまとめ、環境審議会等に報告するとともに、報告書として取りまとめた冊子「会津若松市の環境」を市ホームページ等を通じて公表します。

(別紙) 第2期環境基本計画の達成状況について

個別目標	環境目標	目標値と実績値				目標値 達成状況
		基準値 (H24)	中間評価値 (H29)	R4実績値	目標値 (R5)	
1-1	水路への油漏れ事故等の件数	9件	14件	8件	0件	未達成
	地下水の有機塩素化合物未検出率	56%	78%	78%	100%	未達成
1-2	河川の水質の環境基準達成率	71%	100%	100%	100%	達成
	汚水処理人口普及率	79.7%	83.9%	88.4%	87.9%	達成
	自動車騒音に係る環境基準の達成率	100%	100%	83%	100%	未達成
1-3	毎時0.23 μ Sv（追加的被ばく線量の推計が年間1mSv）を超える地区の数	7地区	0地区	0地区	0地区	達成
	放射線の影響を不安に感じる市民の割合	44.8%	—	市民：18.3% 児童：42.7%	0%	未達成

(別紙) 第2期環境基本計画の達成状況について

個別目標	環境目標		目標値と実績値				目標値 達成状況	
			基準値 (H24)	中間評価値 (H29)	R4実績値	目標値 (R5)		
2-1	森林施業面積		1,347ha	1,757ha	2,126ha	2,267ha	未達成	
	自然環境や動植物の保護を行う市民の割合		21%	—	(H30) 10.5%	60%	未達成	
2-2	環境保全型農業直接支援対策事業の対象面積		(H27) 5,987a	4,839a	9829a	(R8) 7,000a	達成	
	担い手に集積された農用地の面積割合		59.1%	73.1%	80.4%	(R8) 78%	達成	
2-3	農業集落排水施設水洗化率		赤井：97.0% 共和：90.4%	赤井：98.9% 共和：92.7%	赤井：98.8% 共和：95.0%	赤井：100% 共和：94.8%	未達成	
	高度処理型浄化槽の普及率		25.9%	29.1%	35.9%	45%	未達成	
	猪苗代湖・流域清掃活動参加者数		514名	512名	0名	600名	未達成	
	猪苗代湖 及び流入 河川の水質	中田浜	COD	0.7mg/ℓ	1.3mg/ℓ	1.3mg/ℓ	0.7mg/ℓ以下	未達成
			全窒素	0.18mg/ℓ	0.17mg/ℓ	0.22mg/ℓ	0.2mg/ℓ以下	未達成
			全リン	0.011mg/ℓ	0.006mg/ℓ	0.005mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下	達成
	赤井川	BOD	1.4mg/ℓ	1.2mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.2mg/ℓ以下	達成	
		全窒素	1.24mg/ℓ	0.79mg/ℓ	1.17mg/ℓ	1.1mg/ℓ以下	未達成	
		全リン	0.093mg/ℓ	0.080mg/ℓ	0.121mg/ℓ	0.08mg/ℓ以下	未達成	
	原川	BOD	0.8mg/ℓ	0.8mg/ℓ	0.5mg/ℓ	0.8mg/ℓ以下	達成	
全窒素		0.53mg/ℓ	0.29mg/ℓ	0.45mg/ℓ	0.5mg/ℓ以下	達成		
全リン		0.031mg/ℓ	0.027mg/ℓ	0.024mg/ℓ	0.03mg/ℓ以下	達成		

(別紙) 第2期環境基本計画の達成状況について

個別目標	環境目標		目標値と実績値				目標値 達成状況	
			基準値 (H24)	中間評価値 (H29)	R4実績値	目標値 (R5)		
3-1	再生可能 エネルギーの供給 目標値	太陽光発電		(H22) 20.3TJ	(H26) 85.4TJ	(R1) 348.1TJ	344.3TJ	達成
		太陽熱利用		(H22) 0.3TJ	(H26) 0.5TJ	(R1) 0.5TJ	0.5TJ	達成
		風力発電		(H22) 0.0TJ	(H26) 31.8TJ	(R1) 381.5TJ	750.1TJ	未達成
		水力発電		(H22) 6,206.7TJ	(H26) 6,223.3TJ	(R1) 6,235.3TJ	6,245.3TJ	未達成
		うち小水力発電 (1,000kW未満)		(H22) 61.2TJ	(H26) 61.2TJ	(R1) 89.9TJ	99.8TJ	未達成
		地熱発電		(H22) 0.0TJ	(H26) 0.0TJ	(R1) 0.0TJ	0.0TJ	—
		うち地熱バイナリー 発電		(H22) 0.0TJ	(H26) 0.0TJ	(R1) 0.0TJ	0.0TJ	—
		バイオマス発電		(H22) 0.0TJ	(H26) 390.4TJ	(R1) 392.3TJ	392.3TJ	達成
		バイオマス熱利用		(H22) 12.8TJ	(H26) 14.4TJ	(R1) 15.2TJ	417.1TJ	未達成
		バイオマス燃料製造		(H22) 2.1TJ	(H26) 2.0TJ	(R1) 2.0TJ	3.1TJ	未達成
		温度差熱利用		(H22) 6.8TJ	(H26) 7.2TJ	(R1) 12.4TJ	7.2TJ	達成
		雪氷熱利用		(H22) 0.0TJ	(H26) 0.0TJ	(R1) 0.0TJ	0.0TJ	—
		計		(H22) 6,249.0TJ	(H26) 6,755.1TJ	(R1) 7,387.3TJ	8,160.0TJ	未達成
		一次エネルギー需要		(H22) 15,976.5TJ	(H26) 15,280.4TJ	(R1) 11,706.3TJ	14,245.8TJ	達成
	一次エネルギー需要に占める 再生可能エネルギー供給量の割合		(H22) 39.1%	(H26) 44.2%	(R1) 63.2%	57%	達成	
バイオマスの活用 目標	廃棄物系バ イオマス	生ごみ 利用率	27%	24%	21%	50%	未達成	
		下水汚泥 利用率	23%	72%	66%	60%	達成	
		廃食用油 利用率	26%	55%	39%	60%	未達成	
	未利用系バ イオマス	間伐材 利用率	0%	20%	24%	20%	達成	

(別紙) 第2期環境基本計画の達成状況について

個別目標	環境目標	目標値と実績値				目標値 達成状況
		基準値 (H24)	中間評価値 (H29)	R4実績値	目標値 (R5)	
3-2	省エネ診断等の受診施設数 (平成21年度からの累計)	(H22) 4件	28件	45件	70件	未達成
	各家庭における節電・節水等の 省エネ取り組み率	76%	—	(H30) 72.8%	100%	未達成
	エコドライブ宣言者数	(H22) 164名	275名	522名	450名	達成
	「福島議定書事業」参加団体数(市内)	(H29) 事業所：92 学校：21	—	事業所：93 学校：10	事業所：230 学校：50	未達成
	「エコチャレンジ事業」参加世帯数 (市内)	(H29) 117世帯	—	42世帯	500世帯	未達成
3-3	電気自動車・プラグインハイブリッド 車台数	(H22) 5台	268台	459台	8,000台	未達成
	充電器設置数(一般家庭除く)	(H22) 6台	34基	45基	40基	達成
3-4	1日1人あたりのごみ排出量 <新統計>	(H22) 1,222g	1,259g	1,229g	1,031g	未達成
	総リサイクル量	(H22) 13,038t	12,136t	11,469t	13,000t以上	未達成

個別目標	環境目標	目標値と実績値				目標値 達成状況
		基準値 (H24)	中間評価値 (H29)	R4実績値	目標値 (R5)	
4-1	環境教室(子ども向け・市民向け) 参加者数	117名	136名	64名	450名	未達成
	環境関連の出前講座の実施回数	1,347ha	17回	23回	50回	未達成
4-2	環境関連イベントの参加者数	5,191名	4,296名	338名	7,000名	未達成
	公園等緑化愛護会数	84団体	80団体	72団体	85団体	未達成

(別紙) 第2期環境基本計画の達成状況について

事項	目標値と実績値 (千トンCO2)				H22比
	現状値 (H22)	中間評価値 (H26)	R元実績値	目標値 (R5)	
温室効果ガス排出量	1,018.6	1,087.0	944.3	883.6	-7.3%
産業部門	233.2	270.5	205.5	298.4	-11.9%
(建設業・鉱業)	(11.9)	(12.2)	(10.1)	(11.1)	-15.1%
(製造業)	(218.5)	(255.2)	(176.7)	(284.8)	-19.1%
(農林水産業)	(2.7)	(3.1)	(18.7)	(2.4)	592.6%
民生家庭部門	219.2	262.8	202.8	233.3	-7.5%
民生業務部門	297.3	335.7	231.3	264.2	-22.2%
運輸部門	176.1	186.0	202.0	166.3	14.7%
(自家用家計乗用車)	(72.5)	(77.2)	(68.8)	(159.2)	-5.1%
(貨物車・乗合車)	(96.2)	(99.7)	(125.8)		30.8%
(鉄道)	(7.5)	(9.1)	(7.4)		(7.1)
その他	92.8	61.6	163.7	40.0	76.4%
再生可能エネルギーによる削減	0	-29.6	-61.1	-118.6	-%